

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 27日

事業所名 サルビアの家

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|-----|--------------------------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 1 | 3 | | 長期休みなど定員が多い際、一つの空間だと狭く感じる。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 2 | 2 | | 長期休みは、非常勤の調整を行い配置をしている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 3 | 1 | | 建物の構造上改善は困難だがトイレ(1か所)が入口から傾斜があるのが問題なので手すりを使う様になっている |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 3 | 1 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 3 | 1 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | | | 職員全員周知できる体制を行っている |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 1 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 3 | 1 | チームで考える事もあるが個人個人で考える事もある | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | | 職員同士が案を出し活動を考えている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 4 | | 職員一人一人が案を出し合っている | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | 個別活動利用者様一人一人に合った活動を提供 | 感染状況に合わせて活動を組んでいる。個別課題の見直しを行っている。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 3 | 1 | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | 活動記録への記入を行っている | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 4 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 3 | 1 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|----------------------------------|-------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 4 | | | 天候などによる急な変更の際には、保護者、学校に確認の連絡を行っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 4 | | 受け入れる場合必ず主治医の意見書を頂き確認しながら対応している。 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 4 | | 事業所に訪問し、具体的な内容を確認している | 情報共有し、支援の取り組み、介助方法を検討していく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 4 | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 4 | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 2 | 2 | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 2 | 2 | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | | 契約時に保護者様への説明を行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 3 | 1 | | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | | 夏季休暇など長期の休み前には行事予定表の配布を行っている | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 4 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 4 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|-----------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 4 | | 近くの事業所と合同での避難訓練を行っている。非常用災害グッズ常備 | 定期的に行われる避難訓練の参加 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | | | 研修を定期的に行われており、事業所内で再度確認、情報共有していく |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | | 一人一人に合った支援方法を記載した書類を作成、説明同意を得ている。 | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 4 | | 医師の指示書及び保護者との連携を密にとっている | アレルギーがある方に対して、マニュアルを作成して、スタッフ間で情報共有、支援の統一を行っている。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | | 情報共有を行っている。 | 改善すべき項目を取り上げ実践していく。 |